



木田小だより

すずかけ



福井市木田小学校
令和8年9月

1 学期後半にむけて 「失敗をおそれず、やってみよう！」

8月27日(水) 夏休み明け全校朝礼 校長の話

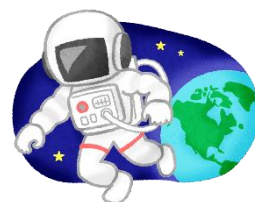
みなさん、おはようございます。長い夏休みが終わりました。
今日から、また学校生活が始まります。元気なみなさんの顔が見ることができてうれしいです。



さて、まずはこれをみてください。これは何だと思いませんか？これは、「サバの缶詰サバ缶」です。

このサバ缶を作っているのは福井県の高校生です。福井県には、若狭高校という高校があります。若狭高校では、地域の特産品であるサバを使った「サバ缶」を、高校生たちが作っています。

実は、このサバ缶、ただの缶詰ではありません。このサバ缶は、宇宙飛行士が宇宙で食べる「宇宙食」としても注目されたものなのです。



地球から何百キロも離れたところを飛ぶ宇宙船の中で、福井県のサバ缶が食べられる。すごいと思いませんか。「自分たちの作ったサバ缶を宇宙で食べてもらおう」という取組・夢は、ある生徒の「このサバ缶、宇宙にとばせるんちゃう」という一言ではじまりました。

ただし、宇宙食として選ばれるためには、味、保存、安全などのとても厳しいテストがあります。当然、このテストをクリアするために、調べて、試して、失敗して、また考えて……を繰り返してきたそうです。そうやって何年間も、挑戦を続けた結果、夢が宇宙までつながったのです。

私が、この話からみなさんに伝えたいことは「失敗してもいい。まず、やってみよう」という気持ちがとても大切だということです。

今日から、学校が始まります。もしかすると、「勉強がちょっと苦手だな」「うまくできるかな」「失敗したらどうしよう」と思っている人もいるかもしれません。でも、最初から完璧にできる必要はありません。大切なのは、「やってみよう」と思うことです。

漢字や計算をがんばる。友達に自分から声をかける。運動で昨日の自分より一歩前に進む。そんな小さな挑戦が、いつか大きな力になります。

そして、友達が挑戦しているときには、「がんばって」「大丈夫だよ」「一緒にやろう」と応援できる人であってほしいと思います。

福井のサバ缶が宇宙へ行ったように、みなさんの夢も、思いもよらないところまでつながっていくかもしれません。

さあ、今日から新しいスタートです。元気に、仲良く、そしていろいろなことに挑戦していきましょう。先生たちも、みなさんの挑戦を応援しています



9月 子どもたちの活動の様子



1年 音楽

外部講師の方からけんぱんハーモニカの弾き方を教えてもらいました。



2年 生活

動くおもちゃを作成中。より楽しくなるように工夫をしています。



3年 社会・総合

公民館は地域でどのような役割をはたしているかお話を聞きました。



4年 総合

福祉学習で高齢者体験。体験装具をつけて、色々な苦勞を体験しています。



5年 図工

11月に行われる木田マイルフェスのポスターを作成しています。



6年 スポーツフェスタ

福井市小学校の人が集まってスポーツ交流。楽しく交流できました。



おみこたさ学級

赤とんぼがたくさんとんでいる秋の掲示を作りました。

子どもたちが企画 委員会活動

委員会活動を子どもたちが企画を出して活発におこなっています。放送委員会のクイズ企画、生活委員会のあいさつ企画、歌声委員会の1年生への今月の歌指導、体育委員会の室内運動でぬり絵パズルなどなど。他の委員会も日常活動をがんばっており、学校を元気にしてくれています。



校舎改修の工事について



夏休み期間中から校舎改修の工事が行われています。現在、行われているのは体育館と南校舎の外壁改修及び屋上の防水にかかわる工事で、令和9年2～3月頃に終了予定です。また、今後、体育館に空調設置のための工事も行われる予定です。